

いきいき かぐらざか

JCHO東京新宿メディカルセンター がん診療情報誌



〈れんげ草〉

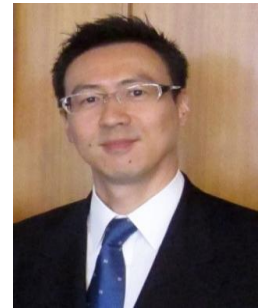
れんげ草には「心が和らぐ、苦しみを和らげる」という花言葉があります。「みなさんが自分らしく過ごせるように」という意味をこめて情報誌を作成しております。

JCHO東京新宿メディカルセンター がん診療委員会

大腸がんについて

外科部長 東 久登

大腸は、消化吸収された食物残渣から、水分を吸収して大便にする器官です。大腸がんは、大腸から発生したがんで、肥満・飲酒・加工肉(ハムやベーコンなど)の摂取などがリスク要因と言われています。また遺伝性のがんもありますので、直系の家族に大腸がんが多いという方も注意が必要です。しかし家族に大腸がんが無いからといって安心はできません。全がんのうち、大腸がんの死亡率は女性で1位、男性では4位です。決して稀な病気ではなく、誰がなってもおかしくありません。当院で、大腸がんと診断された方に「家族に大腸がんがいなかったのに、自分になるとは思ってなかった」とおっしゃる方が非常に多いのです。リスク要因のない方でも、油断はできません。



大腸がんの症状

血便、下痢・便秘、便が細い、残便感、腹痛、貧血などです。しかし早期のがんでは、ほとんど症状が見られません。そのため検診での発見が非常に重要です。症状がないからといって、安心はできません。大腸がん検診は検便(便潜血反応)によって行われます。便を提出するだけの簡単なものです。ぜひ検診を定期的に受けてください。

大腸がんへの対策

大腸がんの予防法が発見されれば、大腸がん死亡率は大きく減少するでしょう。運動による減量、禁煙、禁酒、加工肉の摂取を減らすなど、また葉酸・カルシウム・ビタミンD・食物繊維の摂取などが挙げられていますが、残念ながら確実な予防法はありません。繰り返しになりますが、やはり定期的に検診を受け、早期発見につとめる事が最も重要です。

大腸がんと診断されたら

まず主治医と治療方針についてよく相談してください。主治医の話をよく理解した上で、他の情報(セカンドオピニオンなど)に当たるのが、大腸がんに限らず「正しい治療＝治癒の可能性が高く、体への悪影響が少ない治療」をうけるコツであると思います。

大腸がんの治療

大腸がんの治療は、近年著しく進歩しており、かなりの方が治るようになってきています。大腸がんの治療は、がんがどれくらい広がっているかで決まります。最も治療効

果の高いのは、切除(手術療法)、抗がん剤(化学療法)、放射線治療の三つです。切除の方法には、体への負担が少ない内視鏡切除、腹腔鏡切除もあります。また化学療法は、分子標的治療など新しい薬剤が大きく進歩しており、切除に化学療法や放射線治療を組み合わせる事も多くなってきました。また当院では進行した大腸がんでも積極的に治療を行っており、優秀な治療成績を得ております。当院では大腸がんのあらゆる治療に対応できるスタッフ・医療機器が揃っており、患者さまの状態により、きめ細かく対応してまいります。どうぞ相談ください。

大腸がん検診の申し込み方法

<新宿区にお住まいの方>

〒160-0022 新宿区新宿5-18-21
第二分庁舎分館1F 新宿区健康推進課健診係
TEL 03-5273-4207
インターネットの電子申請も可能です。
<https://www.e-tetsuzuki99.com/tokyo/>

<文京区にお住まいの方>

〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21
文京区健康推進課保健係(文京シビックセンター8階南側)
TEL 03-5803-1229
FAX 03-5803-1355

手術室の紹介

手術室師長 田村 浩子

当センターには33の診療科があります。そのうちの約16の診療科が手術を実施しています。診療科や手術の種類によって、使用する器具や装置は全く違いますので、医師はもちろんのこと、看護師や検査技師、ME(臨床工学師)はより専門的な知識と技術を持って手術についています。

当手術室では、毎月430件前後の手術を実施しています。そのうちがんの治療目的で手術室にいらっしゃる患者さまは30名前後いらっしゃいます。また、1時間前後で終わる日帰り手術から、10時間以上に及ぶ長時間の手術まで多種多様に対応しています。手術中は体を動かすことができないので、褥瘡の発生リスクが高くなってしまいます。特に長時間の手術では同一体位による褥瘡が起きないように、皮膚・排泄ケア認定看護師からの指導を受け、適切な予防ケアを行っています。手術室看護師は、医師が手術をしやすいように器具や装置を万全に準備する他に、術中に痛みや苦痛がないように観察とケアを行い、少しでも安楽な気持ちになっていただきたいと保温器具やクッション機能の高いマットレスなどを揃え、緊張を和らげるための音楽なども流したりしています。手術に対する不安はもちろんのこと、ご病気や生活についての悩みや不安などにも寄り添えるように、手術前に患者さまと面談をしたり、病棟や外来の看護師と連携を取っています。また、面談内容やカルテからの情報を基にスタッフが集まり症例検討会(カンファレンス)を実施したりしています。

外来や病棟の看護師と比べて患者さまやご家族の皆様とお話する機会がとても少ないですが、皆様のお気持ちに少しでも応えられるように、日々努力しています。手術看護の認定看護師もおりますので、手術について分からないことや不安なことがあればお気軽にご相談ください。



ご相談窓口：nintei@tkn-hosp.gr.jp

※勤務の都合上、返信に時間を要することがありますのでご了承ください。

第6回がん患者サロン『がん療養中のお金のこと』を開催して

地域連携・総合相談センター
ソーシャルワーカー 山崎 まどか

当院・がん相談支援センターでは、がん患者さまやご家族の方の交流の場をつくるために平成24年より「がん患者サロン」を開催しています。第6回は、「がん療養中のお金のこと」をテーマに、制度の利用方法を中心にお話をさせていただきました。内容を一部ご紹介いたします。

近年、がん医療の高度化に伴って、さまざまな治療方法が出てきました。「副作用が以前よりは少し楽になった」、「治療の効果がみえる」といった声が聴かれる一方で、その治療にかかる費用は高額になっています。生活へ与える影響は大きく、ある全国アンケート調査によると経済的な負担を感じている方々は全体の約7割を占めます。

そこで、治療や生活にかかる費用を軽減するために、次の制度について取り上げました。

- (1) 入院にかかる費用：①高額療養費制度（限度額適用認定証の取得、非課税世帯の場合の減額、合算の仕組み）、②食事療養費の自己負担軽減、③医療費控除、④その他（障害者手帳、自治体の制度）、
- (2) 仕事が続けられないとき：①傷病手当金、②失業給付
- (3) その他：生活保護、生活福祉資金貸付制度、障害年金、民間保険 など

治療費に対して利用できるものはすでにご存知の方も多かったのですが「実際に利用したいと思った時期に情報を得ることができなかった」、「傷病手当金は再発した場合には給付を受けられるのか」、「障害年金の申請を知らずに利用していないこともあるのではないか」など、参加者の皆さまから貴重なご質問やご意見をいただきました。今後、関係職員で検討させていただきたいと考えております。

また、その方が利用できる制度は法改正や保険者、所得などによって変わりますので、個別のご相談が必要です。当院のがん相談支援センター（地域連携・総合相談センター内）には、社会福祉を専門とした相談員“ソーシャルワーカー”がいます。私たちソーシャルワーカーは、こうしたお金のことに限らず、ご病気や障害などによって生活のなかで起きてくるさまざまな問題についてお話を伺い、解決の糸口を見つけられるようお手伝いをしておりますので、どうぞご利用ください。



<次回サロンの予定>

「がんと共に生活する

～療養場所の選択の仕方～

日時：平成27年2月2日（月）14:00～15:30

会場：当院 別館地下2階 第5会議室

講師：ソーシャルワーカー 篠崎 陽樹

参加をご希望の方は、がん相談支援センターで
ご予約ください。

（本館1階 地域連携・総合相談センター内）

セカンドオピニオンについて

他の医療機関に受診中で、診断や治療方針について他の医師の意見もお求めになりたい方に対して、セカンドオピニオンを行っております。がん相談支援センター又は各科外来（受付時間：平日14時～16時）までお問い合わせください。30分から1時間を予定しております。健康保険は使えませんので1件あたり21,600円の費用がかかります。病理診断医による診断が行われる場合別途8,100円を徴収させていただきます。

また、当院受診中の方で、他医療機関のセカンドオピニオンをご希望される場合は各科受付又は主治医にお申し出下さい。

がん相談のご案内

「緩和ケアについて知りたい」「介護や看護の方法で悩んでいる」など、がんに関わる様々な問題、心配ごとについてのご相談に応じています。お気軽にご相談ください。

受付時間：月～金（祝日を除く） 8：30～17：00

担当：がん相談支援センター（地域連携・総合相談センター内）ソーシャルワーカー

連絡先：TEL 03-3269-8137(直通) msw@tkn-hosp.gr.jp

JCHO東京新宿メディカルセンターのご案内

〒162-8543 東京都新宿区津久戸町5-1

JCHO東京新宿メディカルセンター

TEL 03-3269-8111（代）



【診療科】29診療科

整形外科／脊椎脊髄外科／形成外科／リハビリテーション科／リウマチ科／外科／脳神経外科／脳神経血管内治療科／内科／消化器内科／循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科／糖尿病内分泌内科／血液内科／緩和ケア内科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／小児科／精神科／放射線科／歯科／歯科口腔外科／麻酔科／病理診断科／救急科



□ JR総武線（中央線各駅停車）
飯田橋駅東口 徒歩5分

□ 東京メトロ 東西線・有楽町線・南北線
飯田橋駅（B1出口） 徒歩4分

□ 都営大江戸線
飯田橋駅（C1出口） 徒歩3分
* 当院に一番近い地下鉄出口「C1」は、都営大江戸線利用の場合のみ便利です。
地下鉄で車椅子等でお越しの方は、南武線後楽園駅寄りの改札前にある「地上行きエレベーター」をご利用ください。

□ バス
・ 都営飯田橋駅前—小滝橋車庫（飯62）昼間だけの運行です。
厚生年金病院前 下車すぐ
・ 小滝橋車庫前—九段下（飯64）
飯田橋 下車 徒歩5分